

(2) かぼちゃ

| 防除法 病害虫名 | 防除のポイント | 薬 剤 防 除 | | |
|---|--|--------------------|---|--|
| | | 防除時期 | RACコード | 薬 剤 |
| 1 立枯病 <i>Fusarium solani</i> f. sp. <i>cucurbitae</i> | 1. 床土は排水のよい無病のものを使う。 2. 連作を避ける。 3. 種子は無病株から採取する 4. 発病株は速やかに抜き取り、処分する。 (薬剤使用の特記事項) 1. 土壌消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 | 播 種 前 (湿 粉 衣) | 3 M3・1 | トリフミン水和剤 (混)ベンレートT水和剤20 |
| | | 土 壌 消 毒 | - - - -- | クロールピクリン ドロクロール ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤 (混)ソイリール |
| 2 つる枯病 <i>Didymella</i> <i>bryoniae</i> | 1. 被害植物のついた支柱やハウス資材はよく消毒する。 2. ポリマルチや敷わらを行う。 3. 排水を良好にする。 4. 発病苗は本圃の伝染源となるので植えない。 5. 窒素過多は発病を助長する。 6. 連作を避ける。 7. 被害茎葉は除去し、処分する。 (薬剤使用の特記事項) 1. ジマンダイセン水和剤はべと病にも登録がある。 | 発 病 初 期 | M3 | ジマンダイセン水和剤 |
| 3 灰色かび病 <i>Botrytis cinerea</i> | 1. ポリマルチを行う。 2. 病葉、被害果は除去して埋める。 | | | |
| 4 菌核病 <i>Sclerotinia</i> <i>sclerotiorum</i> | 1. 連作を避ける。 2. 病葉、被害果は除去して埋める。 3. 夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4. ポリマルチ栽培を行う。 | 発 病 前 か ら | 2 | スミレックス水和剤 |
| 5 疫病 <i>Phytophthora</i> <i>capsici</i> | 1. 排水を良好にし、溝の灌漑水を茎葉にかけない。 2. 敷わらまたはポリマルチをする。 3. 高うねにして、浅植えする。 4. 発病果やつるは、圃場外の土中に埋める。 5. 窒素質肥料の過剰施用は、本病の発生を助長するので避ける。 6. カボチャ、キュウリ、ピーマン等の疫病菌と同種なので、これらの作物との輪作は避ける。 | 発 病 前 か ら | 21 P7 M1 M3 M3 3・M3 M1・4 4・M5 11・M5 27・40 40・M5 40・M3 M7・M1 | ランマンフロアブル アリエッティ水和剤 Zボルドー粉剤DL ジマンダイセン水和剤 ペンコゼブ水和剤 (混)テーク水和剤 (混)リドミル銅水和剤 (混)フォリオゴールド (混)アミスターオブティフロアブル (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)ペフドー水和剤 |
| 6 べと病 <i>Pseudoperonospora</i> <i>cubensis</i> | 1. 連作を避け、圃場の衛生に努める。 2. 排水をよくし、多湿にならないようにする。 3. 敷わらまたはポリマルチをする。 4. ハウスでは日中の換気を十分に行う。 5. 病葉は早めに摘除する。 | 発 病 前 か ら | 11 21 P7 M1 M3 M5 3・M3 4・M5 11・M5 40・M1 40・M3 40・M5 | ストロビーフロアブル ランマンフロアブル アリエッティ水和剤 キノンドー水和剤40 ジマンダイセン水和剤 ダコニール1000 (混)テーク水和剤 (混)フォリオゴールド (混)アミスターオブティフロアブル (混)フェスティバルC水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)プロポーズ顆粒水和剤 |

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

かぼちゃ

| 防除法 病害虫名 | 防除のポイント | 薬 剤 防 除 | | |
|--|--|----------------------------|---|---|
| | | 防除時期 | RACコード | 薬 剤 |
| 7 うどんこ病 <i>Podosphaera xanthii</i> <i>Oidium citrulli</i> <i>Oidium</i> sp. | 1. 生育後半には老化した下葉を摘除し、通風と採光を図る。 2. 収穫後の植物残さは圃場に放置せず、早めに処分する。 3. 肥切れを避ける。 | 発病初期から | 3 3 3 9 11 19 - M2 M5 M7 M7 NC M10 3・M3 U6・3 11・7 M7・19 NC・M1 M7・M1 | トリフミン水和剤 ルビゲン水和剤 ラリール水和剤 フルピカフロアブル ストロビーフロアブル ポリオキシシナール水溶剤 サンヨー イオウフロアブル ダコニール1000 ベルコート水和剤 ベルコートフロアブル ハーモメイト水溶剤 モレスタン水和剤 (混) テーク水和剤 (混) パンチョTF顆粒水和剤 (混) シグナムWDG (混) ポリベリン水和剤 (混) ジーフライン水和剤 (混) ベフドー水和剤 |
| 8 褐斑細菌病 <i>Xanthomonas cucurbitae</i> pv. <i>cucurbitae</i> | 1. 排水を良好にする。 2. 密植を避け、通風を良好にする。 3. 肥料切れにならないように肥培管理に注意する。 4. 収穫後の茎葉などは圃場外に持ち出し、処分する。 | 発病初期 | M1 | Z ボルドー |
| 9 アブラムシ類 (モザイク病) CMV WMV ZYMV PRSV | 1. モザイク病が発病している株は早急に取り除く。 2. 圃場の周辺に防虫ネットを高さ1.3mくらいにはったり、シルバーポリマルチ、シルバーストライプマルチ及びシルバーテープをするとアブラムシ類の飛来が少なくなる。 3. 圃場とその周辺の除草に努める。 | 播種時 定植前日～ 定植時 定植時 | 4A 4A 4A 4A 4A 4A | モスピラン粒剤 スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 ダントツ粒剤 モスピラン粒剤 アルバリン粒剤 スタークル粒剤 |
| | | 発生初期 | 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A | アグロスリン乳剤 アデオン乳剤 マブリック水和剤20 ロデオール乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 アドマイヤー顆粒水和剤 アドマイヤーフロアブル ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 |
| 10 コナジラミ類 | 1. 苗による持ち込みに注意する。 2. 周辺及びハウス内の雑草処理を徹底する。 3. 被害植物や雑草は除去後に土中に埋めるか、ビニール等で密封し、半月程度放置する。 | 定植時 | 4A 4A 4A | アドマイヤー1粒剤 アルバリン粒剤 スタークル粒剤 |
| | | 発生初期 | 3A 21A | トレボン乳剤 サンメイトフロアブル |
| 11 ウリハムシ | 1. シルバーポリフィルムによるマルチを行う。 | 発生初期 | 4A 4A 3A | ダントツ水溶剤 モスピラン顆粒水溶剤 トレボン乳剤 |
| 12 ハスモンヨトウ | 1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 圃場周辺の雑草処理を徹底する。 | 発生初期 | 3A 5 | アグロスリン乳剤 ディアナSC |

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

かぼちゃ

| 防除法 病害虫名 | 防除のポイント | 薬 剤 防 除 | | |
|-------------|--|---------|-------------------------|--|
| | | 防除時期 | RACコード | 薬 剤 |
| 13 アザミウマ類 | 1. 苗で本圃に持ち込まない。 2. シルバーマルチをする。 3. 周辺及びハウス内の雑草処理を徹底する。 | 定 植 時 | 4A | ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤 |
| | | 発 生 初 期 | 3A 6 | ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ア フ ェ ー ム 乳 剤 |
| 14 ハダニ類 | 1. 圃場内や周辺の雑草防除を徹底する。 2. 作物残さを放置すれば、ハダニの増殖源となるので、早めに処分する | 発 生 初 期 | 20B | カ ネ マ イ ト フ ロ ア ブ ル |
| 15 タネバエ | 1. 成虫は有機物の腐敗臭に誘引されるので注意する。 2. レタス、ハクサイ、キャベツ等の残根を処分する。 | 植 付 時 | 1B | ダ イ ア ジ ノ ン 粒 剤 3 |
| 16 ケラ | 1. 土地の乾燥を図り、未熟堆肥の施用を避ける。 | 植 付 時 | 1B | ダ イ ア ジ ノ ン 粒 剤 3 |
| 17 センチュウ類 | 1. 水田に転換可能な畑では、2～3年に1回の割合で水田に戻す。 2. 苗からの持ち込みを防止するため、センチュウ類や病害のおそれのない用土で育苗する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 消毒方法はⅢ-14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. パストリア水和剤はネコブセンチュウに登録がある。 3. ソイリーンは、ネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウに登録がある。 | 土 壌 消 毒 | 8B 8B 8B 8A・8B | ク ロ ー ル ピ ク リ ン ド ロ ク ロ ー ル ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤 (混) ソ イ リ ー ン |
| | | 定 植 前 | - (生) | (生) パ ス ト リ ア 水 和 剤 |